

2014年9月24日

経済産業省 平成 26 年度健康寿命延伸産業創出推進事業 「駅からはじめるヘルスケア」実証事業の開始について

株式会社ジェイアール東日本企画（本社：東京都渋谷区、代表取締役：小暮和之）は、株式会社ハピタスクエア（本社：東京都中央区、代表取締役：徳淵慎一郎）、特定非営利活動法人メタボランティア（本社：東京都品川区、代表理事：竹田周）と「日常生活に密着したヘルスケアの仕組み創造コンソーシアム」を設立し、「駅からはじめるヘルスケア」の事業化を目指した実証事業を実施いたします。

本実証事業は、経済産業省が主導する「平成 26 年度健康寿命延伸産業創出推進事業」採択事業のひとつです。都市生活者のほとんどが日々活用するインフラである「駅」を活用し、ヘルスケア効果の「見える化」を図って一般生活者が取り組みやすいコンテンツにすることで、日常生活に密着した、継続性のあるヘルスケアの基盤整備（図 1 参照）を行うことを目的としています。

■ 「駅からはじめるヘルスケア」実証事業の具体的取り組みについて

2014 年 10 月～11 月に、JR 秋葉原駅及びその周辺で、地域の魅力を活かした 5km、7km、10km のオリジナルコースのウォークラリー「えきぼプラス 元気ラリーキャンペーン in 秋葉原」を開催します。ウォークラリーでは、専用のスマートフォン向け「えきぼプラス」サービスでコースの紹介・ナビゲーション・ステータス管理を提供すると同時に、ヘルスケアデータの取得、参加ノベルティの引換の機能を提供します。

また、NPO 法人秋葉原観光推進協会が主催するイベント「秋フェス」等とも連携を図り、参加しやすく継続しやすい実証事業を展開します。



図 1 本実証事業で構築する仕組みと期待する成果

■本実証事業で構築する仕組みのポイント（図1参照）

①日常生活に密着したインフラ「駅」の活用

生活習慣病を発症する前の予防段階のヘルスケアにおいては、参加・継続のしやすさが非常に重要です。本事業では、通勤・通学や買い物・レジャーなどの日常生活に密着したインフラである「駅」を軸として展開し、一般の駅利用者への認知・理解を促し、参加・継続しやすい仕組みを構築します。

②ヘルスケア効果の見える化（専門家によるエビデンスに基づいた評価）

「歩く」ことによる健康効果は周知の通りですが、どの程度疾病予防効果が期待できるかについては曖昧なままのケースも多く存在します。本事業では、専用アプリによって踏破状況が見える化するとともに、過去の関連文献に関する調査研究により、どの疾病でどの程度の予防効果が期待できるかについても評価・分析を実施します。その結果をもとに、本実証事業の成果を様々な形で事業化していく上での方針・戦略策定に活用します。

③実施地域との強固な連携

実施地域である JR 秋葉原駅及び周辺地域との連携により、「他にない」「ターゲットが明確な」「実施主体がある」特性を活かした事業及びマーケティングを展開します。秋葉原の代名詞の一つでもあるオタク文化など、これまでヘルスケア以外の別の興味関心で訪れていた一般生活者に対して、地域資源をフル活用したコースを歩いてもらい、楽しみながら健康になることの価値を実感してもらいます。

■駅から歩くウォークラリー「えきぼ」について

JR 東日本では、JR 東日本管内の駅を起点に、駅から始まるオススメのウォーキングコースやハイキングコースを、スマートフォンで位置情報（通過ポイント）を取得しながらお楽しみいただくウォークラリー「えきぼ」のサービス提供を行なっています。本実証事業では、このノウハウを活用し、スマートフォン向け「えきぼプラス」サービスを構築、提供します。

■経済産業省「健康寿命延伸産業創出推進事業」について

高齢化社会において、増大する医療・介護費用の公的負担を抑制していくことは困難です。公的負担を抑制するためには、国民の生活の質を向上させ、病気にならない・改善させる（悪化しない）・再発しないという切り口での公的保険外の予防・健康管理関連の製品・サービスを提供する「健康寿命延伸産業」を創出することが必要です。国民の健康長寿に関する関心は高まりを見せており、この「健康寿命延伸産業」に対する需要もますます増えてくることが想定されます。

「健康寿命延伸産業」の創出のためには、供給側（各種製品・サービス）への対策、需要側（企業経営層・従業員を含む国民各層）への対策を平行して進めていく必要があります。そのためには事業環境の整備（グレーゾーンの解消等）、企業による健康投資の促進、健康関連商品・サービスの品質評価などの基盤整備が必要です。

本事業は、公的保険サービスの周辺に存在する需要に適切に応えるため、地域資源の活用やヘルスケア効果の見える化の実証を通じ、ヘルスケアを切り口とした地域活性化策の全国展開を図るための基盤を整備し、健康寿命延伸産業の更なる振興を図ることを目的に実施するものです。

参考

■株式会社ジェイアール東日本企画について

ジェイアール東日本企画は、JR東日本の戦略子会社第1号として、1988年に発足した広告会社です。広告会社だけでなく、JR東日本グループのハウスエージェンシー・媒体社などの側面も持ち、JR東日本グループならではの強みを活かしたオリジナル事業などを展開。広告主に、より高度な付加価値を提供しています。本実証事業では、全体の企画・運営・管理全般、広告展開、スマートフォン向け「えきぼプラス」サービスの構築を担当しています。

会社名	: 株式会社ジェイアール東日本企画
代表者	: 代表取締役社長 小暮和之
本社	: 〒150-8508 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR 恵比寿ビル

■株式会社ハビタスケアについて

ハビタスケアは、最先端のサイエンスで明らかにされた最新の知見を、一般生活者に身近なサービスとして提供し、生活習慣病予防への貢献を目指すヘルスケアベンチャーです。東京大学 若者と共存共栄する持続可能な健康長寿社会を目指す Sustainable Life Care, Ageless Society COI 拠点の参画企業でもあり、東京大学、筑波大学をはじめとした医学薬学の研究者との協力体制のもとで糖尿病予防サービスやヘルスケア領域での戦略コンサルティングを提供しています。

本実証事業では、企画立案・プロジェクトマネジメントの支援及びヘルスケア効果の評価と次期戦略策定を担当しています。

会社名	: 株式会社ハビタスケア
代表者	: 代表取締役社長 徳淵慎一郎（東京大学大学院薬学系研究科 受託研究員/薬剤師）
本社	: 〒104-6014 東京都中央区晴海1-8-10 トリトンスクエアタワーX14階

■特定非営利活動法人メタボランティアについて

メタボランティアは『あなたの脂肪が、地球を救う。』をコンセプトに健康人口の増加を目指して活動する特定非営利活動法人です。現在、世界の肥満人口は14億人を越えていると言われます。肥満により世の中に余ったエネルギーを途上国の給食支援などに換え、足りない人たちに渡す仕組みをITや地域コンテンツを活用して構築、健康人口増加のソーシャルプロダクトを企画・開発しています。

本実証事業では、健康アプリ「ヘルシード」の機能を活用したヘルスケア情報の取得・管理及び企画立案・実行支援を担当しています。

法人名	: 特定非営利活動法人メタボランティア
代表者	: 代表理事 竹田周
所在地	: 〒140-0003 東京都品川区八潮5-9-11 こみゆにていぷらざ八潮